

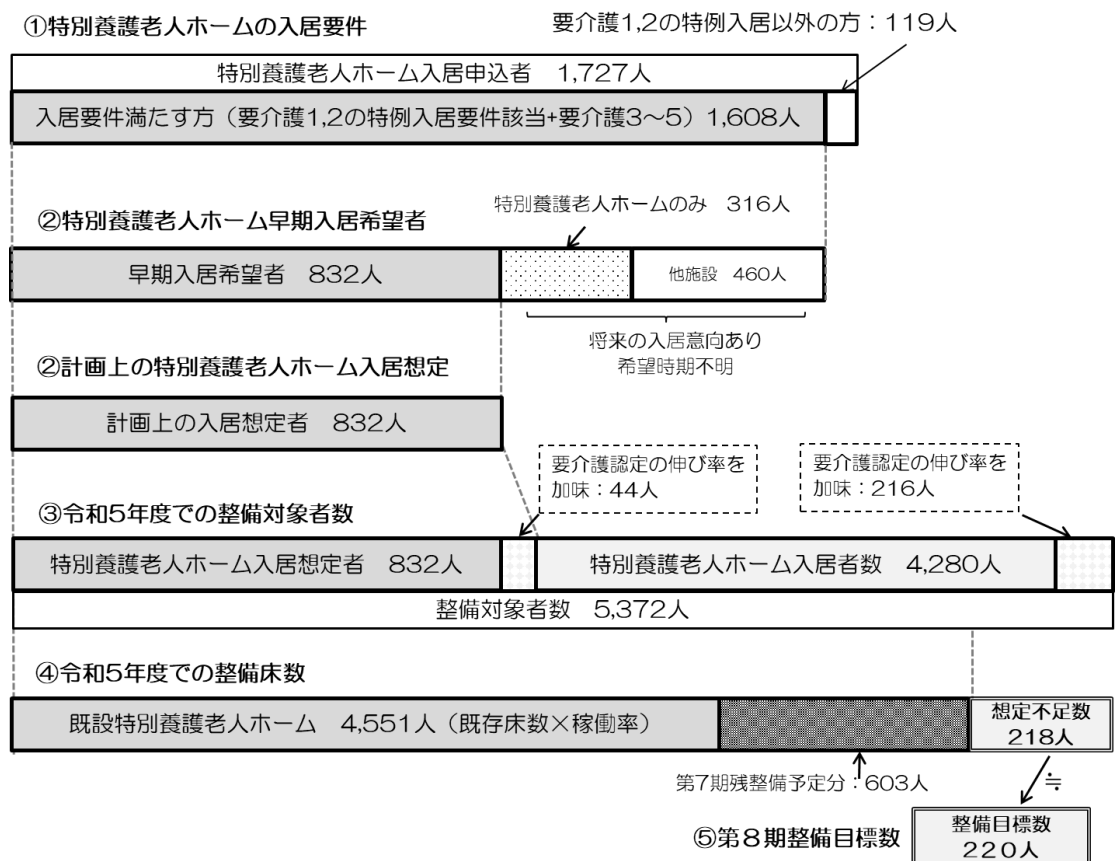
(施策7) 中長期的な視点を重視した介護サービス基盤の整備  
介護サービス基盤整備に係る整備目標設定の考え方について

1 現行計画（令和3年度～令和5年度）に係る整備目標の算出方法について（振り返り）

現行計画における施設種別ごとの整備目標については、各種調査結果などを踏まえ、以下の考え方により整備目標数を算出した。

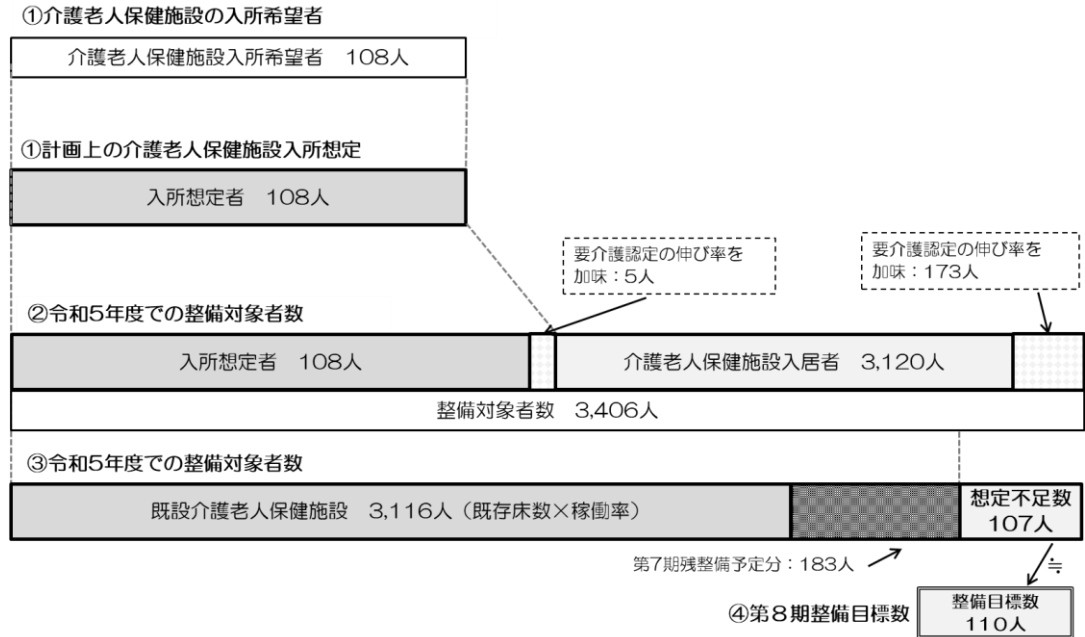
(1) 特別養護老人ホーム

- ① 特別養護老人ホームへの入居申込状況調査及び入居申込者へのアンケート調査（入居希望者数を把握）
- ② 早期入居希望者数を推計
- ③ 入居希望（想定）者数と既存入居者数に、将来的な要介護度別伸び率で算出した人数を加算（＝整備対象者数）
- ④ 稼働率を考慮した既存床数に整備予定床数を加算（＝整備床数）
- ⑤ ③整備対象者数に対する④整備床数の差分が整備目標数



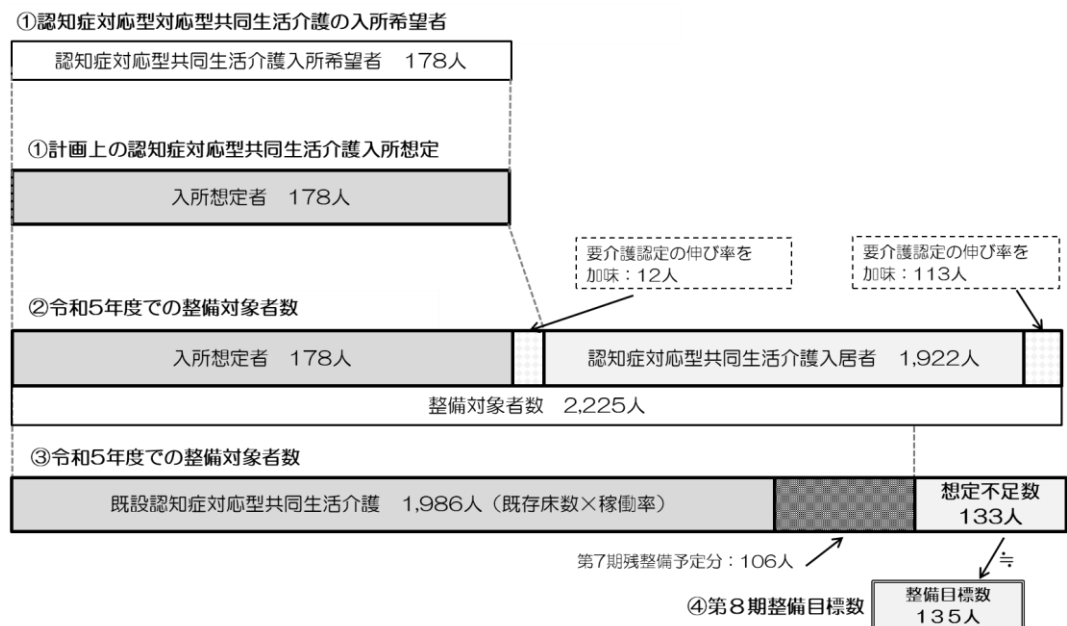
## (2) 介護老人保健施設

- ① 介護老人保健施設への入居申込状況調査（入居希望者数を把握）
- ② 入居希望（想定）者数と既存入居者数に、将来的な要介護度別伸び率で算出した人数を加算（＝整備対象者数）
- ③ 稼働率を考慮した既存床数に整備予定床数を加算（＝整備床数）
- ④ ②整備対象者数に対する③整備床数の差分が整備目標数



## (3) 認知症対応型共同生活介護

- ① 認知症対応型共同生活介護事業所への入居申込状況調査（入居希望者数を把握）
- ② 入居希望（想定）者数と既存入居者数に、将来的な要介護度別伸び率で算出した人数を加算（＝整備対象者数）
- ③ 稼働率を考慮した既存床数に整備予定床数を加算（＝整備床数）
- ④ ②整備対象者数に対する③整備床数の差分が整備目標数



#### (4) 特定施設入居者生活介護

特別養護老人ホームの入居希望者のうち有料老人ホームに入居しても良いと考えている人数等を基に整備量を算出。

①特別養護老人ホームの入所希望者のうち有料老人ホームに入所しても良いと考えている人数

52人

②特別養護老人ホームの入所希望者のうち入所希望時期不明な人数

89人

③希望時期不明のうち「他施設」に入所しても良いと考えている人数

47人

④特例入所対象外的人数

119人

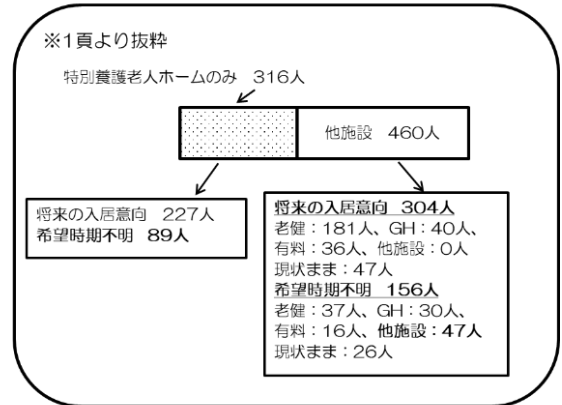
⑤特定施設入居者生活介護の整備目標数

要介護認定の伸び率を  
加味：18人

①52人 ②89人 ③47人 ④119人 =325人 ÷

※第8期整備目標数

整備目標数  
330人



#### (5) 小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護

日常生活圏域で未整備となっている状況を踏まえ整備量を算出。

## 2 現行計画における取組状況

サービス種別	整備目標数	選定済数	令和5年度の 取組状況	備考
特別養護老人ホーム	220人分	196人分	応募なし	24人分繰越
介護老人保健施設	110人分	110人分	公募なし	
認知症対応型共同生活介護	135人分	108人分	公募中	
特定施設入居者生活介護	330人分	289人分	選定手続き中	
小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護	12事業所	6事業所	公募中	

### 3 次期計画における整備目標設定の考え方について

現行計画の考え方を基本としつつ、中長期的視点にたつて、今後、高齢者人口が増加する中でも、介護サービスの需要に対応して必要な方がサービスを適切に受けることができるよう、本市で実施した各種調査(※)結果等を検証のうえ、以下の観点等を考慮しながら、整備目標を設定する。

- ・特別養護老人ホーム等の介護サービス基盤について、計画的に整備が進んできており、待機者数が減少傾向にある状況
- ・高齢者のニーズの多様化を背景に、住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等も増加しており、介護サービス以外のサービスも含めて、選択肢が広がってきている状況
- ・市内施設・事業所における稼働率及び介護人材の確保状況等
- ・既存資源の有効活用も含めた、施設等の今後の運営意向

※令和5年度に本市で実施した調査

- ・特別養護老人ホーム入居申込状況等調査【資料3-2参照】
- ・特別養護老人ホーム入居希望者調査
- ・整備目標設定施設等に対する実態調査
- ・整備目標設定施設等の運営法人に対する実態調査